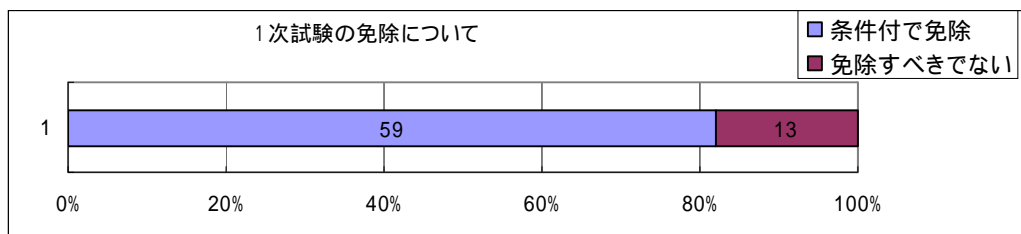
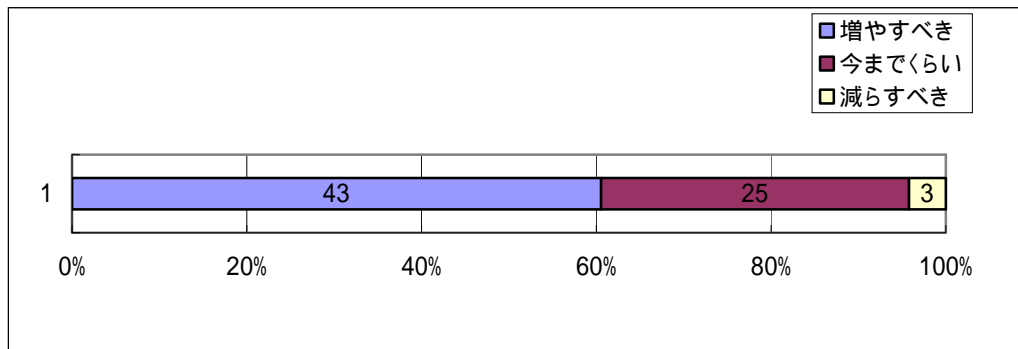


臨採者・非常勤者として働いていて、強く不満に思うことを5つ、順番に記号で教えてください。

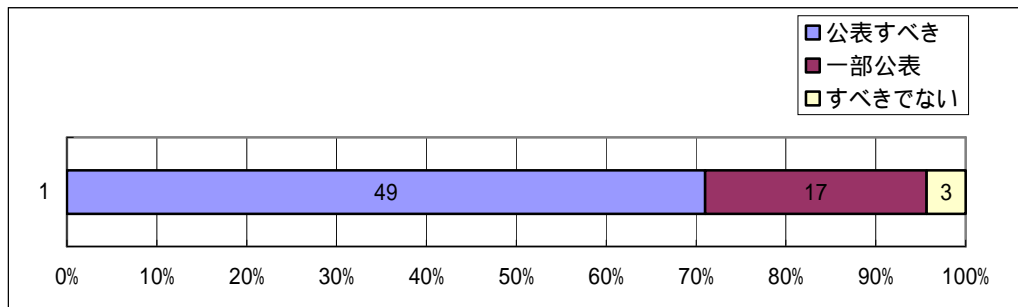
臨採者・非常勤者に対する1次試験を免除することについて



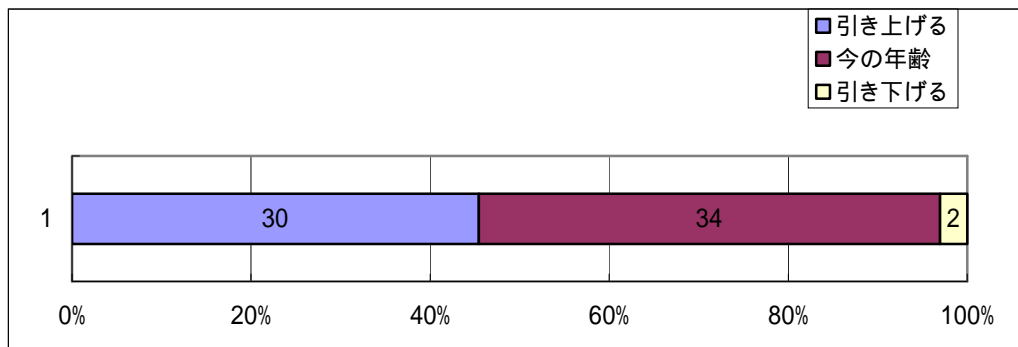
臨採者・非常勤者の採用数（05年度は約67%）について、



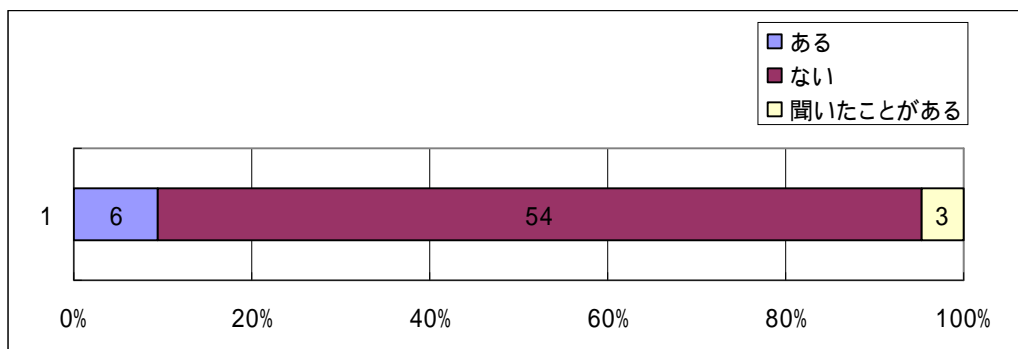
採用基準について



受験年齢について



面接でプライバシーや信条などに関わる質問をされたことがありますか？



臨採・非常勤者アンケート中間まとめ (記述)

● やりがいを感じること・・・

- ・ 学習・運動(部活動)で、子どもから「できるようになった」「わかった」という反応が返ってきたとき。

- ・ 子どもの素直な気持ちに触れたとき、正直うれしかった。どんな子どもでも学びたい、という気持ちをもっているの、それに応えていけるように努力することはやりがいとして捉えています。
- ・ できない子どもができる喜びを味わい、うれしそうな顔を見せたとき。保護者から温かい言葉をかけてもらったとき。卒業していった教え子に電話や手紙をもらったり、出会った時に声をかけてもらったとき。
- ・ 教室では、立場は非常勤であっても、自分の考えに基づき授業をすることができます。生徒から見れば同じ先生。一生懸命授業に取り組む姿やこちらを頼りにしているようすを見るのが何よりの喜びです。
- ・ 子どもに囲まれているとき。思った授業ができたとき。
- ・ 生徒からの反応がよくなること。苦手意識が特に強い子が、質問などをしてくれるようになること。
- ・ 自分のやりたいようにやらせてもらっている。いろいろなことに挑戦できる。
- ・ 子どもがやる気を出して立ち直ったとき。
- ・ 1学年しか授業に出ていないのに、他の学年の子どもから声をかけられるとうれしく思う。
- ・ 子どもが理解できなくて困っているときに、手助けでき、理解できたときのうれしがつている顔を見るのは最高です。
- ・ 子どもの学力が伸びたこと。保護者から信頼の言葉や励ましの言葉をかけてもらったとき。他の先生がたの「お力」になれたとき。子どもから「先生が担任でよかった」と言われた時。
- ・ 子どもと信頼関係が築けて、何でも言ってくれるようになったとき。問題行動を起こす子どもが、それを自分で認めて変容していくとき。
- ・ 単元によってT1の指導をしているが、自分の教えた単元のテストで多くの子どもがよい成績を取ったとき。
- ・ 子どもが心を開いてくれたとき。始めの頃はうまくコミュニケーションをとることができなかった子どもから、ちょっとしたことをきっかけに家のことや友達のことを笑顔で話してくれるようになったこと。熱を出して休んだとき翌日子どもたちが手紙を書いてきてくれたことや、結婚報告にクラス全員でカードを作ってくれたこと。
- ・ いろいろ準備をして行った授業で、子どもたちが「わかった。できた。」という反応を示してくれたとき。任期を終えたときの子どもの別れ。すごく寂しいが一つのことをやり遂げたという満足感と子どもたちが「別れたくない」と惜しんでくれたときの満足感。日々の生活の中での子どもたちとのやりとり。
- ・ 子どもたちや保護者の温かさと、おこがましくも自分を必要としてくれると思ったときは嬉しいです。勤務校の教職員にもよくしてもらって、ありがたく思っています。
- ・ 理解に時間のかかる数人の子どもたちに、個別指導をしていく中で、身近な具体例を挙げてわかりやすく説明をする中で、子どもが問題を解くカギを見つけ、表情も少しずつ変化し（特に目）ていき、「あーわかった！こうすればいいのか！！」などと自ら理解したとき、とても嬉しくなり喜びを感じ、次に向けてのやりがいを感じます。
- ・ 小学校で担任をしたとき、他の先生と一緒に同じ立場でがんばることができました。精神的に疲れたことも事実ですが、そこで学んだことをこれからも生かして行きたいし、これからの自信につなげていきたいです。
- ・ 現在保健室登校の子どもを一人預かっています。週2～3回の登校ですが、次第に「教室に行きたい」と考え出し、そのための計画を練っています。つい先日、音楽の授業なら行けるかもしれないということで、私と行ってみることにしました。半年ぶりでしたがクラスの生徒は温かく迎えてくれ、1時間授業に参加することができました。

本人が教室へ踏み出すための大きな自信になったに違いありません。これが最近の喜び体験です。

- ・ 子どもや保護者からいろいろな要望や感謝の言葉、共に働く先生方から信頼されて、学校現場に新しい風を吹かせたい。学級や学年で子どもの成長を実感するときができたときほど、充実したと感じたことはない。
- ・ 学校内では、教諭も講師も先生であり、目をかけた分生徒がやる気を出したり、慕ってくれることは喜びです。教諭の休職（精神的疾病）によって担任を持ちました。問題を起こす生徒も多く、休みたいのはこちらの方だと思いました。1年間苦労しましたが、生徒の多くは今でも手紙をくれたり、相談をしたりして来ます。あれだけ苦労したクラスでしたが、1年間頑張った姿は、生徒に通じていたのか、と思ったときは本当にうれしかったです。教諭ならばもう1年担任ができたのに、と思うと非常に残念です。
- ・ 今はなかなかやりがいを感じる事ができません。子どもと直接関わることが少ない仕事をする事が多く、「教員ってこんな仕事なの？」と疑問を感じる事ばかりです。T・Tとして入ることしかできないので、余計にそう感じてしまうのかもしれませんが…。このまま、臨採をしてでも教師を続けていくべきか、悩んでいるところです。
- ・ 授業でみんなが「そうかそうか」とよく話を聞いてくれるとき。
- ・ こちらが指導したこと（伝えたい）を生徒が受けとめ、積極的に、また考えながら行動してくれたとき、充実感をすごく感じます。学級担任を任されたとき、不安と期待でのぞみましたが、最初ぎこちなかった話も徐々にスムーズになるようになり、ときに笑いときに真剣に聞いてくれるような雰囲気、私と接してくれるようになったことは、とても私自身の糧になったと実感しました。生徒たちの大切な学校生活の時間を、指導者として一緒に生活し学び合えることをうれしく思います。
- ・ 毎日一緒に勉強や運動をしたり、休み時間などに遊んだりする中で信頼関係を築き、その子の個性を理解しながら、個性を伸ばしてあげたいと思い、指導や援助をしていくことにやりがいを感じる。それで成長を感じられたとき、教師としての喜びを抱く。
- ・ 文化祭や合唱コンクールで、賞を目指してクラスが一つになっているとき、一体になれたような気がしてうれしい。教科の授業をしているとき「あっ、そうなのか」「へえー」「すごい」という声を聞いたとき、喜びを感じます。
- ・ ささいなことでも子どもたちができなかったこと、わからなかったことが理解できたときの満足そうな表情を見せたときには、自分もとてもうれしいし一緒に喜んでしまいます。自分に任された仕事の中で、他の先生方にわかってもらえたとき。
- ・ 部活で子どもと喜びや悲しみを共有したこと。県大会出場を決まって私に抱きついてきたとき。
- ・ 説明を聞いて、「よくわかった」「なるほど」と感動を表したとき。小規模校なので、生徒一人一人と密接なつながりが持てます。教科指導だけでなく、人間として信頼を示してくれるとき。
- ・ ずっと一人で悩んでいた生徒が、私に初めて悩みを打ち明けてくれ、問題を解決して元気になった姿を見たとき。
- ・ 一輪車に乗れない子どもとずっと一緒に練習しました。ある日乗れるように…すごくすごく嬉しくて…友達となかなか交われないその子が一輪車で手をつないで走る姿。忘れません。勉強や遊び、今までできなかったことが、自分の説明や助言でできるようになったとき、いつも喜びを感じました。昼休みのゴムとびや石けり、長なわ、とても楽しかったです。
- ・ 子どもたちの成長を見ることができること。どんなことでも最初はできなくてもあきらめずにやりつづけることでできるようになる。その瞬間と一緒に体験できたときの

喜びは大きい。だから、どんなときでも私は子どもたちの隣で、一緒に学び、遊び、笑っていたいと常に思っている。子どもたちを支えながら…。また、頼りにされることもうれしい。子どもたちにはもちろん先生方や保護者のことにも頼りにされると、やっつけてよかった、私も役立ってるんだなあ、と実感する。

- ・ 子どもが勉強がわかったときの喜び。笑顔で話しかけてくれる子どもを見たとき。毎日が同じでないとき。いろいろなドラマが毎日つくられているとき。
- ・ 卒業後再開し、学校生活の思い出話ができること。(現職中は多忙だったが)
- ・ 今担任している子どもが問題行動を起こすのですが、根気強く接していたら心を開いてくれたこと。自分の見えない部分で、他の先生方から「よくやっている」と評価されたこと(子どもたちが成長していることがわかって)
- ・ 組体操や算数など、できなかったものをコツコツ練習して、成果が出たときの子どもたちの喜び顔を見ることができたときがとてうれしい。「先生が　と言ってるんだからちゃんとやろう」と友達に話す子を見かけると、私の願いを受け入れてくれる子がいると思うとうれしく思う。同時に担任の発言の影響力はとても大きい。言動には十分配慮しようと、身が引き締まる思いである。
- ・ ささいなことでも、いろいろ自分に話してくれることです。楽しいこと、いやなこと…。何でも話してくれる存在になりたいです。
- ・ 保健室にいるが「先生のおかげで・・・」「ありがとう」「元気になったよー」という子どもからの声かけや明るい笑顔に接したとき「やって良かった」と思う。
- ・ ピンチヒッターで授業を行うこともあるが、先生が一人だということもあり、子どもたちがしっかりと話を聞いてくれる。二人の時はただらしている感じがするので「本当に二人必要なのか」という不安が日に日に募っている。
- ・ 「先生がいないと相談相手がいらない」と言われたり、保健室登校の子どもを無理することなく教室に連れていけたり、「わかった」という笑顔を見ることができたとき。
- ・ 1年という短い時間であっても、心をこめて仕事をしていれば、子どもとよい関係を築けるということを実感している。任期を終えるとき、たった一人の子どもでも「先生に教えてもらってわかりやすかった」「来年は先生に担任になってほしいな」と言ってくれる子どもがいれば、私の1年間の仕事は報われた、と思います。そしてその一言が、次の年も教えたい、という意欲につながっています。
- ・ 障害児学級の担当をしているが、毎日が勉強で子どもから学ぶことが本当にたくさんあります。子どもが何か一つ成し遂げたときは涙が出る思いです。障害児学級に携わってから、通常学級での教科指導のやり方も、自分の中で変化があったかもしれません。一緒に組んでいる先生も本当にすばらしい方で、母親として、教員として、いろいろな目線で子ども・保護者と接している姿に学ぶことがたくさんあります。
- ・ 2年生の子どもが「1年の時からいてくれればよかったのに…」と言ってくれたり、授業内容に理解を示してくれたりした時。
- ・ 「先生の教え方わかる！」と言われたとき。不登校気味の子どもに別の教室で勉強を教え始めて半年後「先生、最近　の勉強が楽しくなってきた」と言われたとき。展覧会で指導した子どもが一番優秀な賞を取ったときなど、できなかったことができるようになった、という喜びの顔を見たとき、いちばんうれしい。
- ・ 自分で工夫して作った教具を使って教えたときに、子どもが「わかった」と笑顔になったときにやりがいと喜びを感じた。
- ・ 子どもから相談されることが多いが、まじめに聞いてあげ、こちらが真剣に意見してあげたとき、その後いい結果になったときは大変喜ばしいし、やりがいを感じる。

- ・ 数の概念がない（大小のわからない）子どもに時計の読み方やお金について指導をしている。その子どもが時計の読み方を覚えてくれたことが一番うれしかった。
- ・ 私の働きかけで、子どもたちが学習することに喜びを感じ、意欲的になったりしたときに、やりがいを感じます。
- ・ できなかったことができるようになったときの、子どもの充実した表情を見ると、私自身も非常に喜びを感じることができた。恐れずにチャレンジする、といった努力する過程を子どもとともに歩むことができたからだと思います。

● 不満や要求・・・

- ・ 採用試験での優遇措置。
- ・ 3校ほど中学校で勤務したが、臨採である私たちより明らかに仕事をしていない正規教員が必ず1、2名いるのはなぜでしょうか？公務員だから辞めさせられないということに、あぐらをかいている無力な教員が多いような気がします。熱意のある若い世代の人が狭き門をくぐってきても、そのような教員を見たらがっかりしてしまいます。それで予算が...、とって教員の数も減る一方で、だから臨採でごまかしているようにしか見えません。我々は使い捨てのコマではありません。教員の見なおしをきちんとすべきではないでしょうか。子どもたちも迷惑です。
- ・ 臨採・非常勤講師サイドから見て、正規教員の再試験や見直す手段があったら、教育界は活性化されると思います。（臨採者や非常勤者の方が熱心であり、努力も重ねている）
- ・ 非常勤講師は授業時間数しか給与が保障されていないし、授業時間以外に学校や教室で仕事をするのを認められていないが、現実には教材研究や雑務や環境整備等を行っており、正規教員と同様、自宅に「お持ち帰り」で仕事をするのも少なくない。せめて教材研究・評価・環境整備に関わる時間を給与の対象にしてほしい。
- ・ 常勤講師と変わらない授業時数を、週30時間の勤務時間の中で行うのはとてもハードです。給与面から言えば、月額は全く違うし、ボーナスもないのは本当に納得のいかないところです。庁舎での面接では常勤だったのに、その後電話で非常勤ということになり、即答を求められ、非常に不愉快に思っています。
- ・ 毎月給与から保険等を天引きされていますが、引かれた合計金額のみが記してあるだけで、細かい項目・金額が全くわからない状態です。きちんとした明細をいただきたい。バス等を利用して校外指導に行くときの旅費はいただけないのでしょうか。自腹で行かなくてはならないのでしょうか。
- ・ 千葉や東京のように採用数を大幅に増やしたほうがいい。宇都宮市が政令市になって、県とは別で採用できるようになってほしい。
- ・ 給料を増やしてほしい。手取りで17万円くらいに...。勤務時間を守ってもらいたい。前任校では校長に残れ、と言われた。雇用形態を理解していない校長がいる。採用試験で合格している人の中に、どうして??と思われる人が数名います。臨採者などの中には不合格だけれど、もっとすばらしい人もいるのに。現場の声で判断してはもらえないのでしょうか。
- ・ 臨採の立場の改善を。
- ・ 臨採者は現実に正規教員と同じ業務内容をこなしている。実際の学校ではそれらを区別してしまうと、学校が立ち行かなくなる。学年2クラス程度の学校で3人の臨採者がいれば、正規教員と区別するのはむずかしい。業務内容を区別できないなら、その身分保障、研修等も区別をつけずに行うべきだろう。
- ・ 採用試験で優遇される制度を設けてほしい。

- ・ 1次試験の免除などをお願いしたい。
- ・ 資料やアンケートをおくっていただきありがたかったです。採用の際、知的障害児の支援ということでしたが、対象児の他に手のかかる子どもも数人いて、それらの子どもの面倒まで見ることになり、担任の補佐も含めてすごい業務量になりました。今年度は校長命令でテストの採点まで行うようになり、学校で終わらず家に持ち帰っています。多動の子どもの面倒では目を離せず、気や体の休まる時間がありません。出勤後職員室に戻るのは子どもたちの下校後で、休憩も全くとれません。教材づくりやプリントの用意も任されて夜中まで仕事をしています。他にも助手がいますが、仕事量がとても違いすぎます。待遇面で交通費の支給と時給のアップ並びに賞与がいくばくかいただければ、と思います。現在の時給、日給から見て、この仕事量はいかがなものでしょうか。生活が大変苦しいです。
- ・ 1年単位の契約なので、期末になると次の年はどうなるのか、と不安が付きまとうので、何か安定できる制度ができれば、と思います。
- ・ 長期の休みはただ休むばかりで、何の保障もしてくれないのが辛いです。夏休みだけのバイトを見つけるのも困難ですし、何か自治体の仕事（学童保育の指導員など）を紹介してくれたら、と思っていました。残業代がつかないので、つくのであれば「なんとなく帰りにくい」ということもなくなるし、延長して仕事をした分早く帰るといいう調整をしなくてすむので。出勤日数がどうしても少なくなるので、時給の身にはその方がありがたいです。
- ・ 空白の3月31日。この日のために年金等の手続きが面倒。3月30日で契約を切って、4月1日採用というのはやめてほしい。
- ・ 非常勤講師は年間1260時間まで、とあるが、学校によってまちまち。1260時間と決めたら、きっちりすべての学校で守ってほしい。
- ・ 退職金を実際にもらったことがないのでわからないが、以前4月1日～8月9日までの採用だった時、9月1日までの勤務なら退職金がもらえたという。8月29日は金曜日。土・日をはさんで9月1日が月曜日、この2、3日の扱いを考えてほしい（この後、3カ月もあいたので）
- ・ 時給が高く思われがちだが、行事や仕事などどうしても学校に勤務しているだけで残業はつきものです。採用試験の勉強ができないのも無理はなく、割り切れるほど冷淡になれないため、来年は採用試験に向けて休職しようと思っています。
- ・ 初めて非常勤講師として小学校に来ていますが、他の方に何うと、同一校に連続して勤務できないということですが、慣れてきた頃には終わってしまうので、できれば2年連続して勤務できる制度を希望したいです。そうすれば保護者や児童ともう少し近づけるような気がします。
- ・ 傷病休暇などが与えられたらよいと思う。
- ・ 学校全体の共通意識として、児童生徒と同様に分け隔てなく連絡・申し送り等を確認できる時間を確保してほしい。朝の打ち合わせや職員研修、会議等の時間を含めて同等の待遇を求めてほしい。特に時間給の場合は、以上のような時間を考慮した上で、予算措置を行ってほしい。また、同じ職員の間で各々の分担、校務分掌等をしているはずなのに、我々のような臨採者に対して、他の「代役」や仕事の負担を依頼することが多すぎると感じるので、立場と分担を明確にするよう要求してほしい。
- ・ 私は一般企業で働いていました。公務員は本当に優遇されていると思います。ただこれは教諭に関してだけです。何年も講師を続けていて、現場を知っている人間が採用されないのはおかしいと思います。また研修も何も受けていないのに、いきなり担任をさせられたりするのに、新採には研修があるのも変な話です。あれだけの日数をかけて試験をしたって、不適格な人材を採用していると聞きます。臨採の中から本採へ

の道を作ってほしいですし、年齢制限もなくしてほしいです。何だかんだ言っても、教育委員会が採用するのは、無害と思われる方だとも聞きます。社会経験重視というわりには、長年臨採してただけなど、外の世界を知らない方のほうがよい感じですね。臨採の先生も公務員扱いですが、「クビ」にならない保障がないですよ。しかし、雇用保険に加入していないのは変です。定年まで働けないのに、1年ごとにビクビクしながら過ごすのは本当につらいです。せめて雇用保険をつけてほしいです。

- ・ 臨採者などの研修が少なく、勉強する機会がなかなかありません。現任校では小教研や町教研に参加させてもらえますが、校長先生の考えでは参加させてもらえないところもあると聞いています。もっと教員としてのスキルアップがはかれる場がほしいです。また、臨採者と正規採用者の扱いに区別をしないでほしいと思っています。
- ・ 臨採者としていろいろと経験させてもらえるのはうれしいが、私の場合、1年目で何もわからずに担任を持たされることに納得がいかない。責任ある仕事だからこそ、もっといろいろと勉強してから担任を持ってみたいと思っています。
- ・ 臨採者1年目の者に主任を任せることだけはなるべくやめてほしい。また、臨時免許で他の教科を指導することもできれば避けてほしい。
- ・ 非常勤講師で1日5時間働いていますが、時間で「上がる」と授業の途中だったり、5時間目など、「上がった」後の子どもの姿がわからなくて、次の日の様子に変化があると理解できないので、時間を延ばしてほしい。見通しを持って子どもと接することができない。保険の加入も導入してほしい。
- ・ 複式の手伝いの場合、国語、社会、算数、理科など単式で年間通して、責任を持って授業をやるので時給1300円は安いかな、と思います。しいて言えば。ただし、校務分掌一切なし、部活なし、もち時数も少なめなので仕方ないかなと思っています。午後4時に退勤できるので、これもとてもよい条件だと思っているので、不満や要求等はほとんどありません。
- ・ 小学校の教員免許状を通信で学習しているのですが、スクーリングやレポートがとても大変なので、部活動を考慮してほしい。
- ・ 臨採・非常勤経験者の採用試験での優遇。
- ・ 傷病休暇を短期間でもいいので、いただけたら嬉しいです。研修会等をもっと行っていただきたいです。
- ・ 指導助手の給料で国保・年金を支払うのがとても大変でした。5時間ではなくもう少し長く働けるとまた違うのかもしれませんが。実際5時間ぴったりということは少ないので。
- ・ ずっと同一市町村勤務だったのが、臨採の長期勤務を避けるということで、他の市町村勤務となりました。いろいろな考えがあるとは思いますが、移動先の市町村の教育方針は事前に把握したいと思いました。
- ・ 次の任用先がわかるのが遅すぎて不安に思う。できるだけ早く知らせてほしい。試験勉強の時間を確保できないのは、自分の力不足ではあるが、担任も持ち経験は積んできているので、校長からの推薦状も提出も許可してほしい。審査基準を身内に甘くならないように設ければ、自分に欠けているところもわかり、改善していこうと励みになる。初任の先生を見て、多くの研修を受けられることがうらやましく思える。
- ・ 担任とのやりとりが一番難しい。今年度はうまくやれているが、前年度は担任の校務分掌や個人研修の資料作成などをやっていた。子どもたちを指導する上での助手ではなく、担任の助手になっていた。使われ方によって、難しい問題はどんどん出てくると思う。先生（正規）の理解がかなり必要。
- ・ 非常勤と臨採で待遇や保障が違うのは納得しにくい。
- ・ 教職員課から臨採の話があった。私が非常勤（市採用）だというと、非常勤は採用で

きないとのこと。市と県と連絡を取ってほしい。

- ・ 教員の無理解。差別的な言動に納得できない。助手（県費）に「教員じゃないから指導しないで・・・。」と言って、雑用ばかりさせられる。職員の集合写真にも載っていないし、着任式もやっていない（実習生にだって紹介をしているのに）。学校のたよりに「1年 教諭 指導助手」と書くので、「指導助手だから、先生じゃないんだ」と言われる。みんな「先生」と書いてほしい。
- ・ 身分保障をしてほしい。
- ・ 埼玉では「失業者の退職手当」制度がある。栃木にもこういう制度があるとよい。退職手当も埼玉は1ヶ月分が支給されている。支給額が0.5月以上もらえればよいと思う。
- ・ 市町村採用の非常勤になって、一日も有給休暇がないことに驚いた。研修等（出張）の参加も旅費が絡むのか、できません。仕事の量や内容に対する不満より、非常勤だからと多くの制約の中で勤務していることを、周りの先生方に理解してもらえないことが辛く感じられる。
- ・ 指導助手をやっているが、立場があいまいすぎる。給与も低すぎる。ボーナスは仕方ないとしても、せめて交通費くらいは出してほしい。本気で生活が苦しい。
- ・ 小学校の免許しかないのに、「学習指導助手（中学校）」と辞令交付当日に言われ、学校に行ったら「3年副担」と言われた。校長は何でも屋さんと思っているようで、一方周囲の先生からは本採のように思われているため、T1の先生が出張の時などに授業を教えないことに不思議がられている。このような雇用が初めてなので、雇用期間もサービスも何も話がなかった。後輩には同じ思いをさせたくないで...
- ・ 夏休みのすべてが休みになってしまうのが辛い。半分でもいいから出勤させてほしい。
- ・ 時給でなく日給制、休みの期間も仕事を与えてほしい。有給休暇も保障してほしい。研修や勉強の機会も増やしてほしい。
- ・ 採用の優遇措置と給与の改善。
- ・ 初めての非常勤講師の経験で、学校のことはわからないし、授業だけ行っていればよいというわけではない。そのため、具体的な学校の特色や自分の役割をもう少し詳しく伝えてほしかった。
- ・ 引継の時から「こんなに簡単に済ませていいの？」と腑に落ちない点だらけでした。実際引継もない状態で、あれもこれも、と言われても、本当に困ります。甘えているわけでもなく、一生懸命やっても「もう間に合わない、時間ない、エネルギー限界」という毎日。自分の時間がゼロ、というのはどうでしょうか？自分に心の余裕なく、時間の余裕なく、で、「子どもに対して優しく厳しく接する」など無理です。授業にしっかりと力を注ぎ込みたいのに無理です。